

# 3学年 学年だよ



令和5年12月22日  
大和市立つきみ野中学校  
第18号



## 2学期終了

本日で2学期が終わります。運動会、文化発表会、テストと目まぐるしい日々でしたが、みなさんがそれぞれに、充実感や達成感を味わうことができているといいなと思います。三者面談も終わり、一人一人の進路が今までよりも具体的になりました。今、何をやらなければならないかが分かり、頑張っているみなさんを心から応援します。冬休みも優先順位をつけて努力できるといいですね。受験生としていそがしい日々になる人も多いと思いますが、家族で過ごす時間や、気分転換も大切にしてください。年の終わりにこの一年間を振り返ったり、新年の目標を考えたりしましょう。身体に気をつけて良い冬休みを過ごしてください。また1月9日に元気な顔を見られることを楽しみにしています。

### <Chromebookの制限時間についてお知らせ>

安心・安全にChromebookを活用できるよう、冬季休業中（12月25日（月）～1月8日（月））及び、3学期（1月9日（火）～）より毎日、夜間の利用を制限いたします。学習に有効に活用いただくとともに、健康に気を付け規則正しく生活することができますようご配慮ください。ご理解とご協力の程よろしく願いいたします。

※詳細につきましては、教育委員会からのP Sメールをご覧ください。

#### 制限時間

【長期休業中】 冬季休業・学年末学年始め休業（春休み）・夏季休業

【通常期間中（土日祭日含む）】



23:00～翌6:00

23:30～翌5:00

### 作文紹介

～今回は1・2・3・6・7組です！

『全力を尽くして歌った「ヒカリ」』

1組

合唱練習が始まったのは、本番の一か月前だった。最初はそれなりに歌えればいいと思っていた。でも、練習が進むにつれて、みんなが上達していくのが感じられ、私は焦りを感じた。日を追うごとに、指揮と伴奏が頑張っているのだから、私も頑張らなければ、と考えるようになり、合唱に全力を注ぐようになっていった。私は、パートリーダーでも、実行委員でもない。だから少しでも彼らの助けになるように人一倍声を出した。

最後の練習は、今までで一番上手くきれいにそろって歌うことが出来た。そして迎えた本番当日。私は自分でも驚くほどに緊張してしまっていた。ほかのクラスが歌っている間もソワソワしてしまっていた。それでも一組の番になった時、私は、自分が出せる全力を出しきった。歌っている時間は一瞬だった。合唱の結果発表では、一組は惜しくも優秀賞に届くことはなかった。結果を聞いた

時、もうクラスで行う行事はないのだと感傷的な気持ちになった。

合唱コンクールでは、たくさん考えることがあった。仲間と一緒に目標に向かって頑張ること。クラスの絆。クラスで過ごす時間には限りがあること。

これからはクラスで過ごせる残り少ない日常を大切にして、みんなで笑って卒業したい。

## 『合唱コンクール』

## 2組

合唱コンクールの当日の朝は、何だかどんよりしているように感じた。そんな重い空気の中、どんだん時間は過ぎていった。1, 2年生の合唱は何とか楽しめたが、3年生の合唱が始まると楽しむ気持ちさえ消えてしまっていた。一組一組と自分たちの合唱へ近づいていくたびに、緊張が高まっていった。それはステージに立ってからも同じで、顎の筋肉がこわばってしまうほどだった。だが、集中していたせいか、思ったより早く合唱は終わった。そして、すべてのパフォーマンスが終わり、結果発表の時間が訪れた。最優秀賞は、自分たちと同じ学年の304だった。表彰でステージに上がる時、うれし泣きというキレイな涙を流した渡部君を見て、何とも言えない気持ちになった。自分もそっち側に立ちたかった。思いがけない自分の本心だった。悔しさ、残念さが生まれたということは、それだけ自分の中に熱い思いがあったということだ。自分の本心を見つけられてよかった。

## 『最後のステージ』

## 3組

そろそろ合唱コンの練習が始まるよなあ。そんな軽い気持ちでいられたのは、伴奏者オーディション 1 週間余り前の時期までだったと思う。それまで合唱コンという行事の言葉の認識は、とてもぼんやりとしたものだった。だからあの日、天地がひっくり返るような心地がした。「えっ。私が伴奏者ですか？」伴奏者に違いないと思っていた人が指揮者になった。だから私が伴奏に。簡単な話だけれど脳内で適切に理解できない。私は 1 年以上ピアノを弾いていないどころか触ってすらいない。でも・・・音楽室に光るピアノと、みんなのすぎるような瞳をみたら NO とはっきりとすることができなかった。

家にこの話を持ち帰ると、家族みんなが笑った。無理だ。私も同じ気持ちだった。だけどその一方で「引き受けたい。」という気持ちもあった。私は 9 年ほどピアノを続けてきた。それを”受験”と”部活”を言い訳にして、逃げるように辞めてしまっていた。もし、ここで私が弾ききれれば、やってきたことの意味を示せるのではないか。悩んだ末に、やっぱり私が弾くんだ。という決意を固めた。

それから私は猛練習を始めた。他の伴奏者たちがほぼ曲の完成に向かっていている中、1 人譜読みをし始めるのは、不安と孤独を大きく感じ、恐ろしかった。少しして伴奏に合わせて合唱する時も、何度も何度も、止まってしまった。しかしそんな中、みんなは私に優しくかった。誰も私を責めず、力強い歌で支えてくれた。声をかけたり、練習に付き合ってくれた子もたくさんいた。そして私はみんなの合唱が大好きだった。毎日毎日、より良いものになっていく。だから絶対に成功させたい。私もがんばらなくては。そう強く、強く思った。それからの期間でなんとか伴奏が完成した。

本番。「家族、友達、先生。みんなが私を支えてくれた。だから大丈夫。」私は光り輝くステージで感謝のピアノを弾き始めた。

## 『あなたへ』

## 6組

私たちは合唱コンクールで優秀賞を取ることができた。この結果は、クラス全員が一生懸命頑張れ（顔晴れ）たからではないだろうか。

「あなたへ」という曲は、多くのクラスが希望した曲だった。そんな中で 6 組が歌わせてもらえるのだから、私はとても嬉しかった。しかし、練習が始まったすぐの 6 組は、運動会練習のときと同じように、一人ひとりの意欲の差が大きかった。初めはただただ実行委員やパートリーダーの子ばかりが頑張っている練習だった。だが、合唱は数人の力ではどうすることもできない。だから、まずはその時点での課題と目標を明確にした。そこからやっと 6 組の合唱練習はスタートした。

「あなたへ」の歌詞に込められた感情の起伏は激しく、強く歌わなければいけないところが多い。だから、最後まで息をもたせることが大変だった。私はもともと歌うことに自信がなく、歌声が小さくなってしまっていた。でも、上手な子が歌い方を教えてくれ、だんだん音程が取れるようになっていった。最初はテノールが優勢になっていた歌が、ソプラノ・アルトとのハーモニーが生まれるようになり、声もひとつになった。

私は、運動会・文化発表会を通して、改めて練習が本番の結果に結びつくことを感じた。6組なりに感情を入れて歌った「あなたへ」が、聴いている人にも伝わっていたらいいなと思う。

## 『合唱祭』

## 7組

今年の合唱祭に対して、私は人一倍情熱を向けていた。私は今年、全校合唱の指揮者だった。そして、一二年はクラスの指揮者をしてきたため、クラス合唱を歌うのは初めてだった。そのせいだろうか。今までとはちがった緊張感があり、気持ちが高ぶっていた。

グリーンホールという広い会場で歌った「結」は、間違いなく、最高のものだったと思う。7組はノリのいい人が多いが、それが同じ目標に向かった瞬間の歌は、練習の時とは全然違っていたと思う。練習の成果が、余すことなく発揮されていた。みんなで団結して一つの歌をつくることが、こんなにも楽しいとは知らなかった。この合唱祭は、私にとっていい経験となった。

優秀賞をとることはできず、悔しい結果とはなったが、7組の友情はさらに深まったと思う。ここで深まった友情を今後の生活にも生かし、受験という一つの目標に一丸となって向かっていけると良いと思う。

## 芸術鑑賞「上方落語」

11月29日（水）に桂九雀さん、桂九ノーさん、芸人 THE ブラストさんをお迎えして、芸術鑑賞会を行いました。今年度は日本の伝統芸能ということで、「上方落語」と「色物」と呼ばれる演芸（管楽器演奏・バルーン・大道芸・江戸の伝統芸能）を鑑賞しました。生徒感想文の紹介をします。6組は学級閉鎖のため残念ながら鑑賞できなかったのですが、少しでも様子が伝わると嬉しいです。



### <生徒感想文>

今回私は落語を初めて生で見ました。かたくりしいイメージがありましたが、とてもリラックスして笑うことができました。江戸時代の落語がとても短くおどろきました。一人で何役もしながら、扇子などの小道具をいろいろなもののように使っていて、すごいと思いました。ローラースケートをしながら楽器を演奏するのは、とくに迫力がありました。落語のBGMはきれいな響きで、情景を思い浮かべることができました。また機会があったら落語を見て楽しみたいと思います。（1組）

今回は落語、大道芸を見せてくださり、本当にありがとうございました。落語は「笑点」という番組で存在を知っていましたが、場面によって楽器の音を変えること、小道具として布や扇子を使うということを知ることができました。桂九雀さんの落語は、話の盛り上がりに合わせて声を強く響かせていたり、怖い話とおもしろい話で声のトーンを変えていたり、さまざまな聞きやすい工夫がされていました。桂九ノーさんは明るい話を明るいトーンで話してくれて、とても面白く、元気になることができました。芸人 THE ブラストのお2人は、観客をまきこんでみんなを笑顔にするすばらしい芸人さんだと感じました。私たちを90分、ずっと笑わせてくださり、ありがとうございました。（2組）

今日の芸術鑑賞を見て、落語の面白さを知ることができました。落語は劇のようにたくさんの方がいるのではなく、たった一人で登場人物全員の役をするので、物語を想像しながら楽しむことができました。話の最後に予想できないくらいの「オチ」があり、すごく面白く、思わず笑ってしまいました。今まで日本の伝統芸能について名前を知っているだけで、実際に体験したことがなかったけれど、今回の芸術鑑賞を通して、落語について興味をもつことができました。これから日本の伝統芸能をもっと知りたいと思います。（3組）

本日はお忙しい中、つきみ野中学校に来てくださり、ありがとうございました。私は今まで落語などの伝統芸能に触れたことがなく、直接拝見するのは初めてだったのですが、とても楽しく笑わせていただきました。私は吹奏楽部に所属しているため、楽器の音色に興味深く聞き入りました。特に三味線の音色が心に残りました。芸人 THE ブラストのお二人がご登場された時も、思わずトランペットに目がいきましました。「お上手だな～」と楽しませていただいていると、まさかのアルトサクソ！金管も木管も演奏できるなんて本当にすごいです！切り絵の豊島先生の横顔も、とても似ていました。改めまして本日はたくさんの笑顔と感動をありがとうございました。（4組）

今日初めて生の落語を見たのですが、声を出して笑ってしまうほど面白くて、とても興味深いと思いました。日本の伝統芸能である「落語」は江戸時代に流行ったもので、現代からみると遠い昔のもので、なじみ深いものではないと思っていました。けれど、今日の落語の内容やオチを聞くと、今の私たちにも通じる面白さがありました。芸人の方の芸も驚いて見入ってしまうほどのクオリティーで、ずっと楽しみながら見ることができました。管楽器の演奏もローラースケートの技もすごかったです。今日は私たちに貴重な体験と時間をくださり本当にありがとうございました。(5組)

今回の芸術鑑賞の落語について、家族から「面白いから楽しく見ておいで!」と、言われました。自分は落語を見たことがなかったので、正直どんなものだろうと思っていました。いざ始まると、落語家の方の話し方は巧みで、オチもキレイにスパッと決められ、とても面白いものでした。90分、最高の時間を過ごすことができました。落語には色々な小道具があり、音で、その時の季節や気持ちを表していることに感心しました。改めて日本文化のすばらしさに気づくことができました。本当にありがとうございました。(7組)

正直に言います。最初の10~15分寝ました。睡魔せんでした。けれど、目が覚めてから最後の落語までは、眠さの「寝」の字もないほどに、楽しませていただきました。とくに九ノーさんの落語はすごかったです。主人公の馬鹿っぷりを表情や声だけで表現していて、本当に引き込まれました。落語は笑顔で面白く語りますが、その裏には、沢山の努力や苦難の道があるのだと思います。それはどんなことでも一緒ですよ。そんなときは、落語のように面白おかしく乗り越えたいです。(8組)

初めは落語に興味がわかず、2時間もあるのかと思いましたが、いざ落語を聞いてみると、話の内容や話し方など全てが面白くて、とても楽しい2時間になりました。紙切り芸が特に印象に残っています。立ったまま、あんなにきれいな形が、ハサミ一本で切れるんだと驚きました。お話で1番印象に残っているのは、家族とさるの話です。お父さん、お母さんどちらが運転したのか、何が事故の原因だろうと思っていたら、まさかのさるが犯人だったってことに、驚きと笑いが一緒にきました。楽しい時間をありがとうございました。(9組)



桂九雀さん



桂九ノーさん



芸人 THE プラストさん

**重要** 2学期通信簿「総合学習の所見」について  
総合学習の所見について、1学期の通信簿では「3学期に評価します」と記載しておりましたが、高校に提出する調査書にも記載する内容なので、2学期の通信簿でお知らせすることになりました。3学期も2学期と同じ内容を記載させていただきますので、ご確認ください。